

健康 讃歌

by 岡山旭東病院

顔面けいれん(片側顔面痙攣)は病気？ 症状や生活状況に応じた治療法を。

「顔面けいれんは、片側顔面痙攣ともいい、顔の半分が自分の意思とは関係なく痙攣するものです。一般的には目の周囲から始まり、だんだん口元や顎の下の筋肉が同期するようになります。脳の深部で顔面神経に血管が接触して圧迫することが原因で起こり、過度な緊張など、ストレスで悪化するため注意が必要です」と教えてくれたのは脳神経外科部長の中嶋裕之医師。患者

は四〇〜五〇代の女性が多く、病気自体は生命に関わるものではないだけに、つい放置してしまう人も多いとのこと。しかし自分の意思とは関係なく顔面が動く、ということでは仕事やプライベートで人に接する機会が多い人は日常生活で不快な思いを抱くケース



脳神経外科 部長
中嶋裕之




も少なくない。特に女性は、美容にも影響を及ぼすだけに放つては置けない疾患。最近の治療法について中嶋医師は、「治療法としては神経への圧迫を取り除く手術、またはボツリヌス毒素による対処療法のいずれかになります。手術療法は微小血管減圧術と呼ばれるもので、全身麻酔を行ない、痙攣している側の耳の後ろを七〜八センチ切開し、神経に接触する血管を剥離し、移動して神経への圧迫を取り除きます」。

続けて、対処療法として有用なボツリヌス毒素治療とは？「ボツリヌス毒素が持つ筋肉を麻痺させる性質を利用した治療法です。希釈したボツリヌス毒素を顔に注射することで筋肉を麻痺

させ、痙攣を抑えます。根本治療ではなく、繰り返し行なう必要がありすが、全身麻酔が難しい方や高齢者、外来治療で済ませたい方などにはメリットのある治療法です」。


最後に、「片側顔面痙攣は病気です。ただし原因がはっきり分かっていますし、治療法も症状や患者さんの生活状況に応じた対応が可能ですから、心配する必要はありません。痙攣の症状が気になる方は専門医にご相談ください」。顔面けいれんの悩みを抱えている方は、まずは早めに相談を。

◆お問合せ／岡山旭東病院 ☎〇八六・二七六・三二三一
<http://www.kyokuto.or.jp>



**日本eラーニングアワード2016で
厚生労働大臣賞を受賞しました!**

eラーニングとはITを活用した学習支援ツール。日本eラーニングアワード2016では各企業・自治体・団体の取り組みを審査し、優秀作品に大賞と4つの大臣賞が授与されました。今回、当院の「医療現場に特化したeラーニングシステム」が高く評価され、約100点に及ぶ応募作品の中から厚生労働大臣賞を受賞。情報システム課の榎原祥裕主任とICUの浅越博之看護師が受賞講演を行ないました。



3月

- ◆福田浩子ソプラノコンサート
3/10(金)13時半〜14時
- ◆第80回 転倒予防健康教室
3/21(火)14時〜15時
- ◆第96回 病院見学ツアー(癒しのコース)
3/24(金)13時〜15時半
定員:10名
- ◆医科歯科連携健康講座「ロコモティブシンドロームについて」
3/25(土)13時〜15時
- ◆糖尿病教室
3/28(火)13時〜14時

**岡山旭東病院
パッチ・アダムスホール
(院内1階多目的ホール)
イベント案内**

4月

- ◆第81回 転倒予防健康教室
4/18(火)14時〜15時
- ◆【市民公開講座】
第28回 パーキンソン病健康教室 in岡山
4/22(土)14時〜16時
会場:岡山コンベンションセンター
3階コンベンションホール

※どなたでもご参加いただけます。
コンサート以外は事前にお申込みをお願いします。
お申込みは 企画広報室 ☎086-276-3231

